

# 令和元年度福井型コミュニティ・スクール報告書

若狭町立三方中学校

## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成 (2) 協議会の内容

#### 【協議会員】

- 〈 家庭 〉 P T A 会長 (1)  
P T A 副会長 (2)
- 〈 地域 〉 交番相談員 (1)  
主任児童員 (2)  
高校 P T A 副会長 (1)  
学校歯科医師 (1)
- 〈 学校 〉 校長、教頭、  
教務主任、生徒指導主事

- ※地域コーディネーター (2名)
- 若狭町政策推進課 (1名)
- 若狭町観光未来創造課 (1名)

#### 【第1回協議会】

- 期日：5月24日 (金)
- 内容：・スクールプラン、取り組みの重点  
目標について協議  
・意見、情報交換

#### 【第2回協議会】

- 期日：2月14日 (金)
- 内容：・自己評価の結果と改善策に  
ついて評価  
・意見、情報交換

### (3) 協議会における成果と課題

- 成果：・今年度のスクールプランと具体的取組について、助言を得ることができた。
  - ・学校評価アンケートの結果についての議論を行い、今年度の取組の成果と課題を明らかにすることができた。
  - ・総合的な学習の取組についての協力の申し出をいただいた。
- 課題：・学校評価に対する外部評価を得ることが主目的であるが、ややマンネリ化してきている。具体的に地域・家庭と学校がつながりをもつ取組を議論し計画していく機会と考えていきたい。

## 2 地域と進める体験活動 『三方学』 地域の宝に課題を見だし探究する

### (1) 活動のねらい

若狭町の豊かな自然や文化に直接触れる体験を通して、地域のもつ魅力や強み、抱える課題を発見させる。さらにそれらを解決しようとする探究活動を通して、地域を愛し、地域と共に生きようとする態度や能力を育む。

### (2) 活動の実績 各学年1例ずつとりあげる

#### 3か年に渡る活動の流れ

- 1年生 まちの宝を発見しよう
- 2年生 三方学 (地域を題材にした探究活動)
- 3年生 若狭町 P R 活動

① 1 年生活動テーマ：『まちの宝を発見しよう』

「梅干し加工体験」（1年・7月）

若狭町三方地域では「福井梅」の生産が盛んであり、重要な地域資源となっている。地域で梅干しの加工に携わっておられる方々を講師に招き、江戸時代から続く梅作りの歴史を学び、梅干し加工体験に挑戦する活動を通して、地域の魅力を体感させる。漬け込んだ梅干し樽は生徒自身が学校で保管し、給食時に利用している。



② 2 年生活動テーマ：『三方学』

「三方学」（地域を題材にした探究活動）（2年9月～3月）

自然・歴史・産業・観光・食文化など豊かな地域資源に目を向け、その中に課題を発見し、解決に向かう探究活動を行った。

＜探究テーマ一覧＞

No.	分野	探究テーマ	生徒数	協働する地域の方
1	縄文	縄文人の生活はどんなものだったのか。	4	縄文博物館
2	縄文	縄文土器はどのような技術で作られたのか。～縄文土器を作ってみよう～	6	縄文博物館
3	年縞	年縞をどうやったらPRできるか。	6	MMネット、年縞博物館
4	年縞	若狭の魅力をPRするには。	6	JTB
5	自然	修学旅行に都会の学生が来るには、どういう風な自然に関する体験をしたらよいか。	6	JTB
6	自然	若狭町の災害（台風・地震・土砂崩れ）が来た時の被害はどんな感じなのだろうか。	6	（未定）
7	梅	どのような方法で梅をよりPRできるか。	5	若狭町特産振興室
8	梅	若者や子どもに梅を流行らせるにはどうしたらよいか。	5	若狭町特産振興室
9	漁業	なぜ若狭町でコイやフナを食べるのか。	6	鳥浜漁協
10	漁業	外来種をどうしたら減らせるのか。	5	マリパーク
11	観光	レインボーラインを盛り上げるためにはどうしたらよいか。	6	若狭町観光未来創造課
12	観光	三方五湖をPRするためには。	6	里山里海研究所（予定）



③ 3 年生活動テーマ：『若狭町PR活動』

A 「特産物販売活動」（3年・5月）

3年生がこれまで探究してきた町づくりプランを具体的に実行する手段として、修学旅行先の東京都内で、若狭町の特産品の販売・PR活動を行った。

販売場所：東京都（浅草・日本橋、戸越銀座・神楽坂・赤坂）、千葉県浦安

販売物品：梅干し、梅パイ、サバ缶、梅ドリンク、梅サイダー

PR活動：縄文勾玉づくり



④ 全学年活動テーマ『町づくりを実感する』

A 「若フェス」(全学年・9月)

若狭町で今年度開催された「若フェス」に全校生徒が参加した。主催団体と協働して、町づくりの具体的な場面を体感することができた。

体験メニュー一覧

1年生	2年生	3年生
縄文丸木舟レース参加		
ヘルスツーリズム体験 SUP体験 伝統漁業体験	年縞博物館ガイドツアー	縄文博物館ガイドツアー



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- 若新雄純氏招聘に関して仲介を依頼し、講演会の実施にお手伝いをいただいた。
- 特産品販売活動に関して、直接助言をいただくだけでなく、関連業者の方との連携をコーディネートしていただいた。
- 2年生の探究活動において、各グループと協働していただく地域の方や関連業界の方とのつながりをコーディネートしていただいた。

(4) 特に工夫した事項

- 3か年に渡る探究学習となるように、スモールステップを組むことで次の学年への継続性をもたせるよう努めた。今年度は特に、2年生において「三方学」と題し、まち作りという直接的な制限を設けること無く、興味をもった題材について地域の大人と関わりをもちながら、課題について掘り下げていく活動として改善を加えた。

- 課題設定（課題の発見）が教師側の押し付けにならないように留意しながら取組を続けた。
- 外部の方との電話を用いた交渉については、事前に要点を確認したり、依頼の練習をしたりしながら生徒の不安を取り除くと同時に、先方に対し礼を失することのないように配慮した。
- 「年縞」については中学生がその意味を理解するのに難解な部分が多いので、より体験的・感覚的に捉えられるよう、学芸員の方と十分な打ち合わせを行ったうえで教材・指導案を作成し、実施した。
- 3年生が探究成果を2年生に対して発信する機会を設け、2年生が探究活動を始めるにあたり、具体的なイメージをもてるよう工夫した。

#### （5）成果と課題

- 地域コーディネーターの方々を軸に多くの地域の方の協力を得ることができ、地域との連携に関するノウハウが蓄積された。
- 「総合的な学習の時間」の指導計画を見直す良い機会となり、「地域を愛し、地域と共に生きようとする人材の育成」というねらいのもと、指導計画を改善することができた。
- ▼今年度の探究活動の成果を全職員で共通理解し、育てたい生徒像の実現に向け、学校としてぶれることのない3カ年にわたる指導計画へのブラッシュアップが望まれる。